

■ギリシア：ギリシア電力会社のストライキにより複数の地域で停電

2014年7月2日深夜より、ギリシア電力会社（PPC）労組は48時間ストライキを開始した。ギリシア政府は2015年にPPCの分割・民営化を計画しており、今回のストライキは、この計画に対する抗議行動として実行に移された。これにより、国内の13カ所の発電所（約200万kW相当）が運転を停止し、7月3日夕刻のピーク負荷時には、首都アテネを含む複数の地域で、最大1時間程度の停電が発生している。PPC労組は7月4日深夜から、再び48時間ストライキを実施しているが、これに対してギリシア政府は、今回のストライキが違法行為であるとして、労働者に対して職場に戻るよう強い調子で要求している。